



東海・中国・四国御庭会 合同御庭会 (4月20・21日 浜松)

4月20・21日に、東海・中国・四国地区による合同御庭会が行われた。その後、中尾公子先生の講演会が実施された。講演会は「受注率100%のツボ」と題され、人と違う個性ある提案が競合に打ち勝つポイントであることや、多様な植栽の活用についての説明が行われた。その後、三御庭会の会員様同士で情報交換会が行われ、各地域の外構市場の状況や、今後の展開等について有意義な意見交換が行われた。翌日、浜名湖花博会場の見学を行った。

東北御庭会 研修会 (5月12日 仙台市民会館)

総会 (7月7日 仙台サンプラザ)

東北地区では5月に研修会として増田史男先生による講演が行われ、プレゼンボードの具体的な作り方などの説明があった。7月には総会が開催され、次年度の計画が発表された。あわせて当社の2004年春の新商品概要と、クレーム現場での対応方法についての説明が行われた。

スーパー御庭番 VER 6.1 リリース (2004.8)



3次元R塀(平面R塀+天端R塀)が、「笠木つき・くりぬきつき」で作図できるようになりました。

群馬御庭会 研修会 (5月26日 前橋支店)

群馬地区では、御庭番ユーザー様向けに研修会が行われ、新バージョンでの追加機能や、カラーシステムの詳しい操作方法について説明があった。また、メールを活用したデータのやりとりについての説明も行われ、有用な研修会となった。

栃木地区 御庭番研修会 (8月27日 ホテルフェアシティ)

栃木地区では、御庭番ユーザー様向けの個別研修会が行われた。操作上の疑問点に対する説明や御庭番に対する要望など、有用な研修会となった。あわせて、馬木浩重先生の講演会が行われ、作図専門のオペレーターにも現場を知ってもらうことが大切だという説明があった。

四国御庭会 総会 (10月14日 新居浜商工会議所)

四国地区では総会が開催され、今年度の報告、次年度の計画が発表された。また、あわせて古橋宜昌先生による講演会が行われた。講演会では、住宅の流行を意識してエクステリアデザインを考え、建物と調和するようなエクステリアが大切だとの説明があった。

御庭番スタッフ紹介

御庭番の導入で「ぼやっ」とした絵がクリアになり
お客様も「絵の通りになりましたね」と満足されてます。

秋田県 秋田市
株式会社 ナカガワ様



代表取締役 中川兼喜様



御庭番オペレーター
村岡店長様



御庭番オペレーター
山田様

私はこの業界に入って26年になりますが、ずっと手描きで図面を描いていました。しかし、手描きの図面やパースは、秋田弁で言う「ぼやっ」とした感じなんです。カタチがハッキリしないというか、イメージがくっきり湧かないというか。そこで5年前、思い切って御庭番を導入したんです。御庭番を使うと、細かいところまでハッキリと具体的に表現できますし、仕上がりがリアルですから、今までわかりにくかった「出来上がり図」がお客様にもイメージしやすくなったようです。最後の「寄り切り」がしっかりできて、成約も増えてきたという手応えがありますね。それに御庭番だと、手描きとは比較にならないほど直しが簡単なので、お客様からのご希望や変更をどんどん盛りこむことができます。ただ、なまじ細部までクリアに見えるせいか、細かい変更や追加が増え、こちらの仕事が増えたような気もしますが(笑)、その分お客様の満足度もアップしているのだから良いことだと思います。御庭番の操作は、専任のオペレーター(男性)が担当しています。研究熱心でセンスもよく、私がお客様から聞いてきたご希望を見事に表現してくれます。このチームワークが当社の自慢です。それに、当社の御庭番の使い方はちょっとユニークで、お客様との打ち合わせ段階では、白黒の絵だけ持っていく、それをたたき台にして話し合いを進めます。色がついていないほうが、お客様のイメージがぶくからむからです。そしてとことん話し合い、最後に色付けして提出します。そうすると「ああ、こういうふうになるのね」とお客様が感動し、納得して成約してくださるんです。そして実際に施工して完成したとき、お客様からよく「絵の通りになりましたね」と言われるんですが、これが一番の褒め言葉だと思っています。休日は……実は卸しの方もやっていて、展示場を2~3店持っているの、そちらの仕事もあり、休みがなかなか取れないんです。それでもたまの休みは、山歩きやバイク、あるいは釣りを楽しんでいます。まあ、それよりも、大好きなお酒を飲むのが一番のリラックス法かもしれませんね(笑)。

